

# 大阪・関西万博の会場建設費について

2020年12月

政策企画部万博協力室

# 会場建設費（600億円増額の内訳）

約600億円

① 来場者の快適性・安全性・利便性の向上のための施設

【約320億円】

<主なもの>

- ・暑さ対策のドライミスト、単独トイレ棟の整備
- ・ゲート待ち来場者の雨除け、日除けのため入場ゲート屋根
- ・受変電設備や情報通信設備、ポンプ設備の上屋
- ・グリーンワールドの照明設備
- ・会場内のサービス施設等の面積等の見直し
- ・ウォーターワールドの水質管理

② 参加国、事業者の多様な参加を促進するための施設

【約110億円】

<主なもの>

- ・飲食、物販事業者の参加を促進するためのレストランやフードコート、物販施設
- ・中小企業などの参加機会を拡大するためのメッセ施設
- ・迎賓館に隣接する日本庭園

③ 大屋根の整備 【約170億円】

- ・雨除け・日除け機能及び来場者の主動線となる大屋根の設計変更

## ■従前との比較

	従前（1,250億円）	見直し後（1,850億円）
施設整備費（パビリオン、催事施設、大屋根などの建築費用）	700億円	1,180億円
基盤インフラ整備費（電力、ガス、上水、下水、雨水排水、通信などの施設整備費用）	550億円	670億円

## ■ 2025年大阪・関西万博 会場建設費 概算事業費

大阪府政策企画部万博協力室

	名称	事業費 (億円)	備考
① 来場者の 快適性・ 安全性等・ 利便性の 向上	パビリオンタイプB、C、国際機関、 テーマ館、催事施設	245	・ゲート待ち来場者の雨除け、日除けのための入場ゲート屋根 約30億円増額含む
	管理施設、サービス・ゲート施設、 迎賓館、イベント広場、照明設備など	399	・グリーンワールド照明設備 約13億円増額含む ・会場内サービス施設等の見直し 約83億円増額含む
	会場土地造成、雨水排水管敷設	29	
	電気・ガス・冷熱供給・上下水・通信 再生可能エネルギー	424	・暑さ対策（ドライミスト）、単独トイレ棟約30億円増額含む ・受変電設備、情報通信設備、ポンプ設備上屋約45億円増額含む
	会場内インフラ施設	190	・ウォーターワールド水質管理約32億円増額含む
	会場外駐車場	103	
	計	1,390	
② 参加を 促進する ための多 様な参加	レストラン、フードコート、物販施設	71	・飲食、物販事業者の参加を促進するためのレストランやフードコート、 物販施設 約71億円増額
	メッセ施設	14	・中小企業などの参加機会を促進するためのメッセ施設 約14億円増額
	日本庭園	9	・迎賓館に隣接する日本庭園 約9億円増額
	ベストプラクティスエリア、ギャラリー 中央部広場、屋外ステージ	16	
	計	110	
③ 大屋根 整備	大屋根整備	350	・雨除け、日除け機能及び来場者の主動線となる大屋根の設計変更 約170億円増額
	計	350	
	合計	1,850	